



御影北だより

令和2年度 9月号

神戸市立御影北小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mkk-es>



コロナに負けずたくましく生きる

日中は、暑い日が続きますが、朝夕は、秋風も吹き、少し過ごしやすくなってきました。例年より早く始まった2学期ですが、子供たちは、良いスタートを切ろうと、元気いっぱい過ごしています。

全校生での取組としては、1学期から挨拶をしっかりと頑張っています。多くの子供たちが、気持ちの良い挨拶をしています。ご家庭でのお声かけもあり、どんどん素敵な挨拶ができるようになってきています。「いつでも・どこでも・だれとでも」気持ち良く挨拶ができることを目標に頑張り続けたいです。2学期は、「もくもく清掃」にも力を入れています。黙ってそうじに取り組むことで、「がまん玉」「見つけ玉」「親切玉」という3つの玉をみがきながら、学校も自分自身の心もきれいにしようと話しています。きれいな校舎と一人一人のきれいな心をいつまでも保てればと思います。

5年生は、今月24日（木）から26日（土）まで兵庫県北部のハチ高原まで自然学校に行く予定です。2泊3日と短くなりましたが、普段学校ではできないような体験をたくさんしてきたいです。晴れていれば、できる限り、野外で活動する予定です。仲間と共に過ごす2泊3日は、きっといつまでも忘れられない貴重な経験となることでしょう。今後のコロナウィルスの感染状況によっては、中止もあり得ますが、感染対策をしっかりと実施の方向で進めたいです。

また、6年生は、来月5日（月）6日（火）の1泊2日で、広島方面へ修学旅行に出かけます。学校で戦争や平和について学び、現地での見学や語部の話を通して、原子爆弾や戦争の恐ろしさを実感することで、「平和な社会の担い手」となってくれればと願っています。

自然学校も修学旅行も多くの子供たちにとって、最も楽しみにしている学校行事であると共に、子供たちが大きく成長できるチャンスでもあります。そして、5年生・6年生にとっては、一生に一度しかない大切な時です。是非経験させてあげたい活動です。

今後「コロナに負けない」ためにも、コロナウィルスについて正しく理解し、できることをしっかり子供たちと一緒に頑張りたいです。子供たちには、「事前事後の手洗い」を徹底するように話しています。そして、今一番気をつけないといけないことは、コロナ感染者や濃厚接触者への心無い誹謗中傷です。人権擁護の観点からも、むやみに差別することがないように子供たちには伝えていきます。誰も病気になりたくてかかる人はいません。一番の被害者です。感染者やその家族、そして、近くにいる人を今こそ大切にしていきたいです。

子供たちには、普段から「元気・笑顔・仲間」を大切にするように話しています。コロナ対応のためいろいろな制限がかかる今こそ、学校目標「すすんでする・がんばりぬく・助け合う」ことが当たり前できるよう、「元気いっぱい・笑顔いっぱい・やさしさいっぱい」で友達や家族や先生、身の回りにいる人々を大切にしてお過ごししてほしいです。

そして、子供たちにとって一度しかないそれぞれの学年の生活をしっかりと頑張らせたいです。保護者の皆様・地域の皆様、今後とも、ご支援ご協力よろしくお願いたします。

校長 長谷川 秀治